

岩本の

妙法天狗

平成十一年三月五日号

岩本にある実相寺の山門をくぐると、すぐ左側に妙法堂と呼ばれる小さなお堂があります。今回はこのお堂にまつわるお話を紹介します。

実相寺にある妙法堂は妙心みょうしんと法心ほうしんという兄弟の天狗を祭っています。この天狗は妙法二神みょうほふにじんと言い、足と手の神様であると言われています。この二神は一時いっじきに千里せんり(約四千キロメートル)を走る力を持っていたと伝えられています。そして、足や手の病気に悩む人がこの

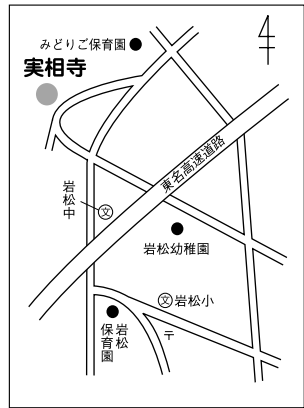
神様に祈願すると不思議とその病気が治ると言われています。

さらに、ほろ瘡そう神様とも呼ばれ、天然痘がはやったときには、その治療を祈願したとも言われています。

ほかに、この妙法堂には昔からいくつかの言い伝えが残っています。

子どもが生まれると、赤飯をす※のこに盛って供えます。そして、白紙を赤い梅で染め、その紙をお堂の横にあるさるすべりの木に結びと、その赤ちゃんは健康に育つと言われています。

また、春の節句には、成人した人が小さい



ころに祝ったひな人形を持ち寄って、このお堂に供えて成長を感謝しました。

また、昭和五十二年から天狗のご利益にあやかり、子どもの健康を祈願して、地域の子どもたちを集め、マラソン大会を始めました。このマラソン大会は今でも毎年四月に行われ



ています。

※すのこ：竹・アシを編んだむしろ

岩本地域の歴史に詳しい

落合 さかえ 栄さん（岩本）

岩本には昔から天狗にまつわる言い伝えがいくつも残されています。この妙法天狗の話のほかにも万野の天狗岩や龍巖淵の天狗の話も残っていますよ。

よく天狗というと、すばしっこくいたずらが好きな感じがしますが、天狗は信仰の対象になっていることも多くあります。この妙法天狗もお寺の守り神と云えるのではないのでしょうか。

この妙法天狗の話は小さいころ家の人から聞きました。私もよく実相寺で遊んだものです。これからもこのような地域の言い伝えを残し、また、まだよく知られていない民話も掘り起こしていきたいですね。